



建第 050706 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

玖珠町長 小林 公 明



中期的な計画の作成にあたっての意見書について (回答)

貴職におかれましては、厳しい財政事情の中、中山間地域等地方の道路整備事業にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号で依頼のありました標記の件につきましては、別紙のとおり意見書を提出いたしますので、何卒ご理解のほどよろしくおねがいします。

中期的な計画の作成にあたっての意見書

大分県 玖珠町

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

＜産業基盤確立に向けた物流に対応する道路ネットワークの確立＞

玖珠町は九州の中心部に位置する農林業の町です。東西に国道 210 号、南北に国道 387 号が中心部を交差し、東に大分市、西に福岡市、南に熊本市、北に中津市など都市圏地域と交通路の要衝にあります。

現在、玖珠町の農業は西日本唯一、食味が特 A に格付けされた「ひとめぼれ」を産する稲作を中心に林業では杉・檜などの建築資材や加工品（乾しいたけ）、夏秋野菜（白ねぎ、きゅうり、ピーマン、トマト）をはじめ花卉のバラ、更には豊後玖珠牛の生産及び販路拡大により農家所得の向上と経営安定を目指していますが、生産者と消費者を結ぶ物流基盤整備の遅れにより、農林業の振興に苦慮いたしております。つきましては、物流面において基幹道路となる国道や県道の早急なネットワーク化を要望するところであります。

＜地域経済の発展と財政基盤の強化＞

地域経済の発展と自治体の財政基盤を強化する上で最も重要な政策は、企業誘致による「雇用と税源の確保」です。現在、アジア経済の急激な発展に伴い自動車関連を中心とする企業が北部九州へ進出する中、玖珠町は交通路の要衝にあり福岡・北九州都市圏をはじめ熊本市の結節点にあたり、また九州自動車道玖珠 IC など地理的に好条件を備えていますが、道路改良の遅れが企業誘致の弊害となっています。

つきましては、地域経済の活性化と財政基盤強化のためにも国道、県道の整備促進を要望するところであります。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 過疎山間地域など歩行者の少ない路線については、高規格基準による両側歩道設置や幅員を見直すなど、地域の実態に合った改良が必要と思われます。
- ② 高速道と国道の連結（インターチェンジ増設等）などにより既存路線を最大限有効利用することで新設計画の見直しが可能ではないかと思われます。
- ③ 公共事業が個人契約や県・市町村に比べ用地取得や補償費に割高な経費を要しているため、補償基準の見直しが必要ではないかと思われます。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

<直接配分制度の確立と補助率の拡大>

少子高齢化と過疎化により地方は深刻な状況に陥っています。とりわけ財源の乏しい玖珠町にとっては、行政面積が 286 km²と広大なため財政規模の類似する自治体と比較しても道路整備・維持管理に要する経費がかかり財政圧迫の要因となります。さらに、高速道の側道及び県道の移管等、新たな町道認定に伴い維持管理の対象路線が増加しており、町財政が厳しい状況の中で道路維持管理費を安定的に確保することは困難な状況です。したがって、行政面積に応じた道路特定財源の補助金化など直接配分が可能なシステムの構築、並びに国土交通省関連事業における補助率の拡大を要望するところであります。

<その他の個別事案>

- ① 玖珠町では、都市計画公園事業（平成 19 年 3 月 27 日認可、平成 26 年 3 月 31 日完了）を予定しています。

この事業は、都市基盤の整備、都市環境の改善により将来の町づくり、地域活性化につなげようと計画したのですが、一方で計画地が国道 210 号に接しているため、交通安全上の問題をはじめ車の渋滞も懸念されることから、公園整備に合わせて国道右折レーンを設置するよう指導を受けているところであります。

本件は原因者負担とも言われていますが、町財政の厳しい状況から費用負担の点で再検討をお願いします。

- ② 国道と町道の分岐点周辺の改良について、とりわけ町道の右左折レーン設置の改良（町道浦河内線、町道中島線、町道長野下線、等）に対する補助金など財政的支援をお願いします。